

# 2018年3月期 決算説明会資料

2017年4月1日～2018年3月31日

株式会社マンドム  
(証券コード 4917)



## 目次

1. 2018年3月期決算
  2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況
  3. 2019年3月期 通期業績見通し
- ◆ 参考資料

# 2018年3月期 決算サマリー

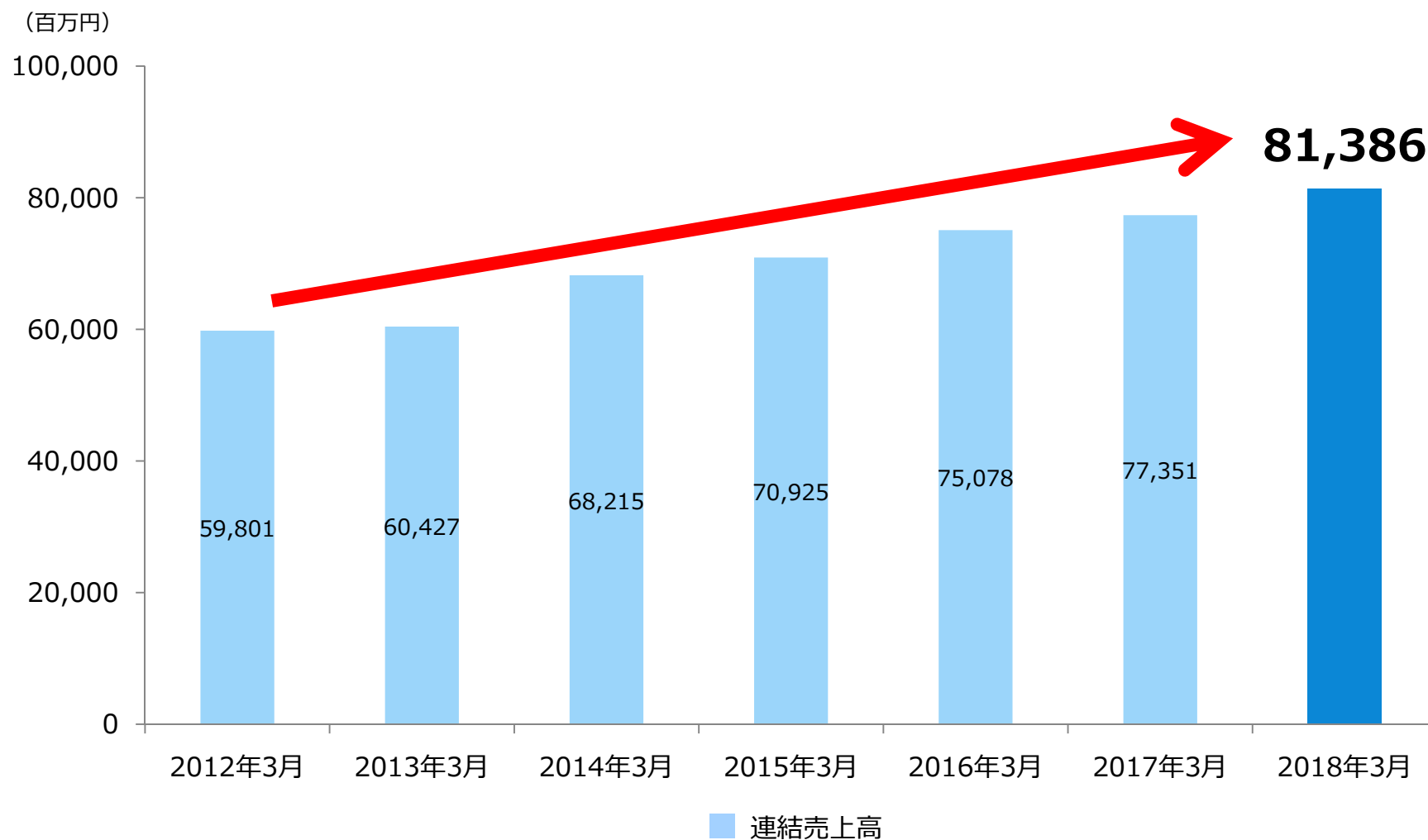
- 連結売上高は8期連続増収で過去最高を更新  
連結営業利益、連結経常利益も過去最高を更新
  
- VISION2027実現に向けた基盤整備期の  
1年目としては順調に進捗

# 1. 2018年3月期決算

# 1. 2018年3月期決算

## 1) 連結売上高、各段階利益共に順調に推移

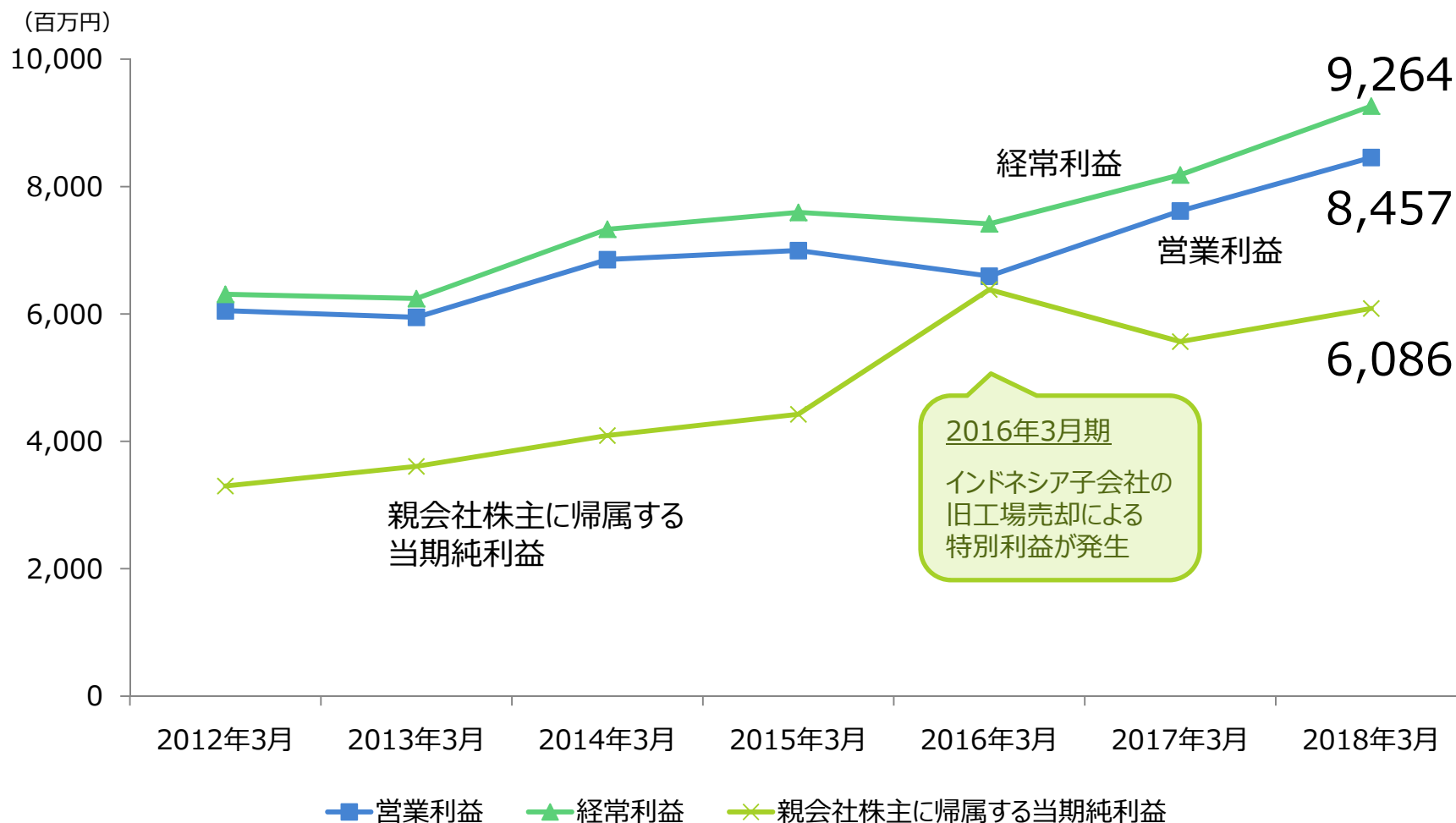
・連結売上高 8期連続過去最高を更新



# 1. 2018年3月期決算

## 1) 連結売上高、各段階利益共に順調に推移

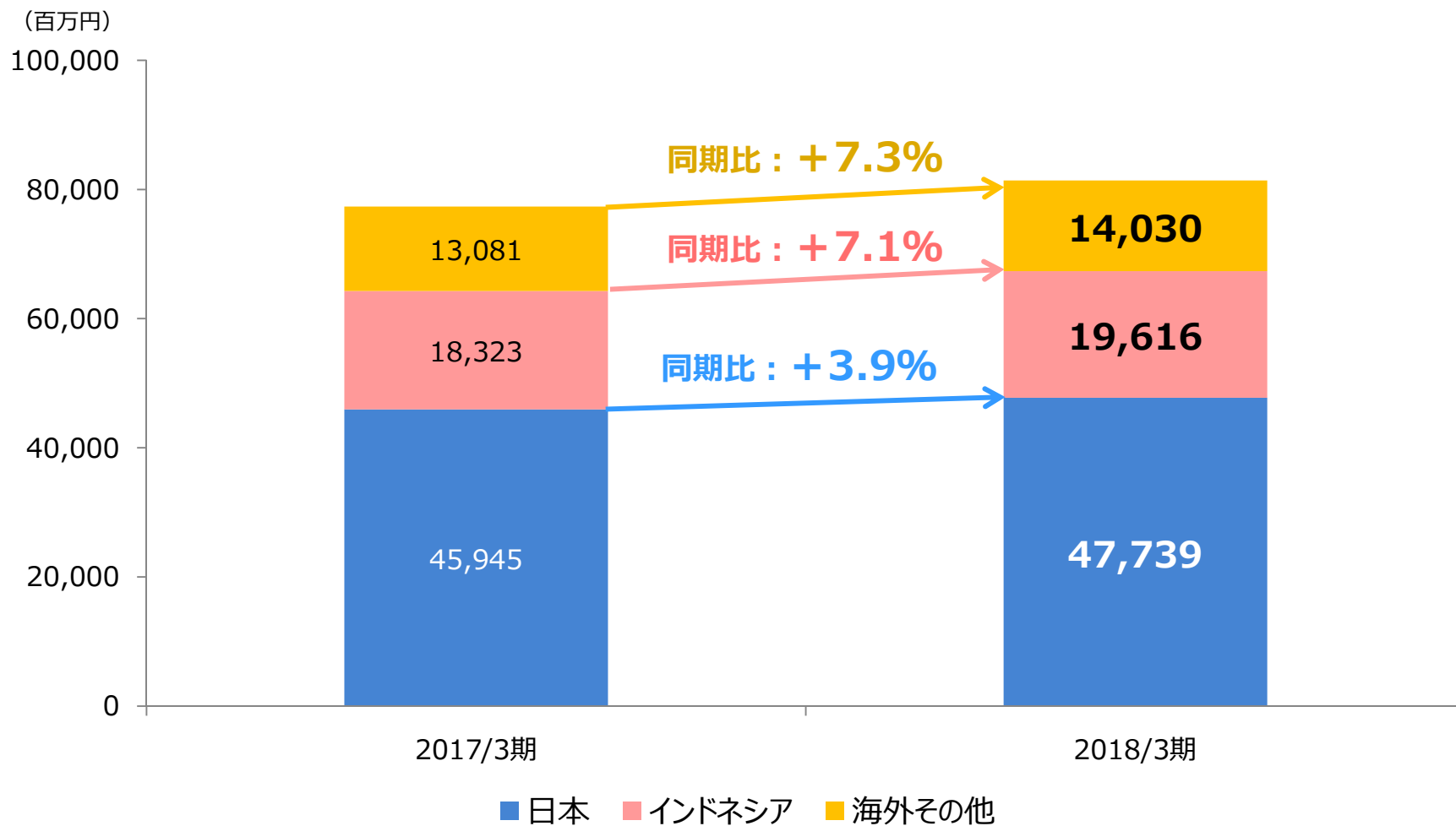
・連結営業利益、連結経常利益 2期連続過去最高を更新



# 1. 2018年3月期決算 <所在地別売上高>

## 2) 日本・インドネシア・海外その他共に順調に推移

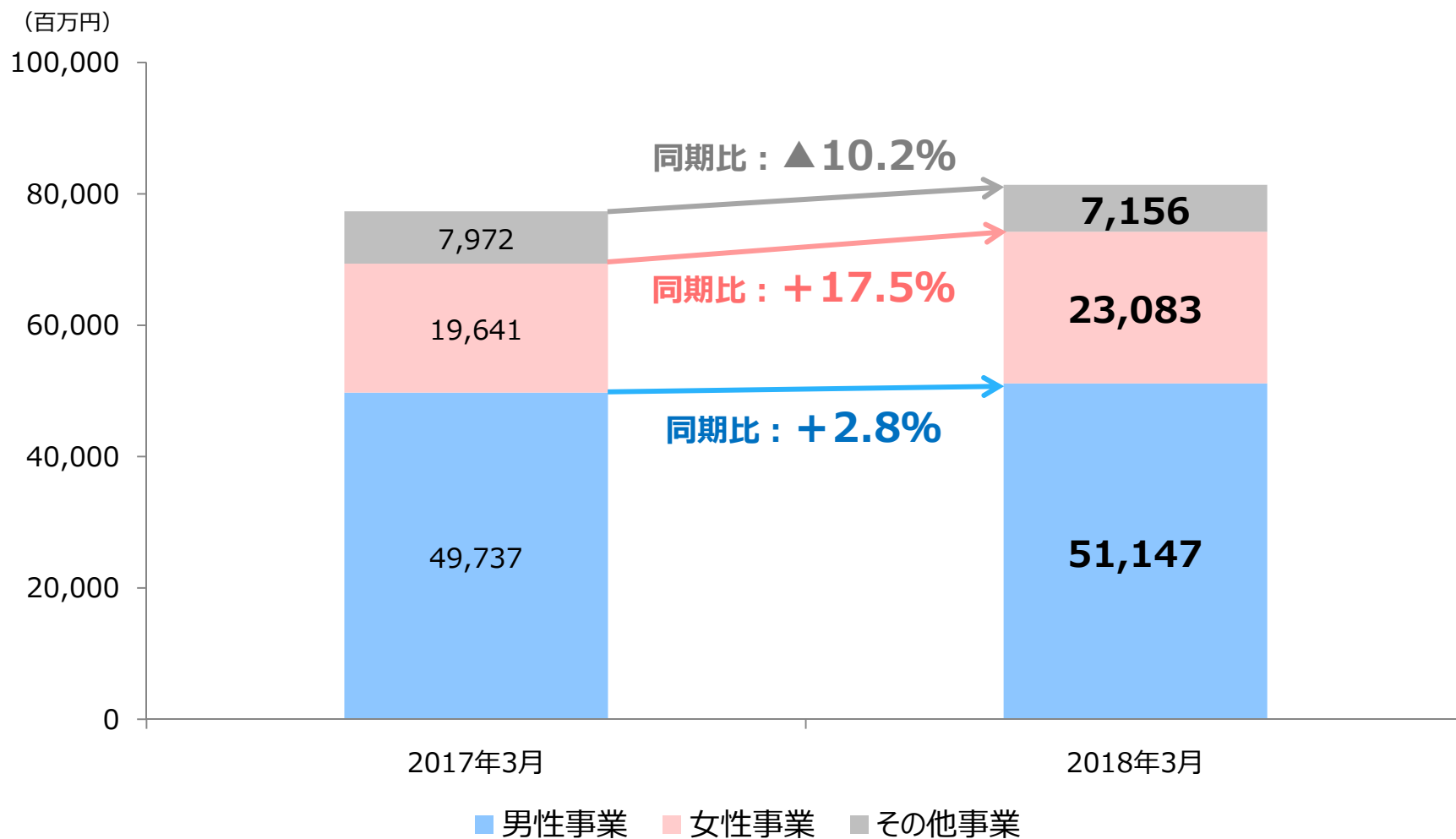
・連結売上高 海外比率は41.3%



# 1. 2018年3月期決算 <事業別売上高>

## 3) 女性事業が、国内外でのビフェスタの好調などにより大幅に成長

・海外のギャツビー、国内外のビフェスタ、バリアリペア、ピクシーが好調

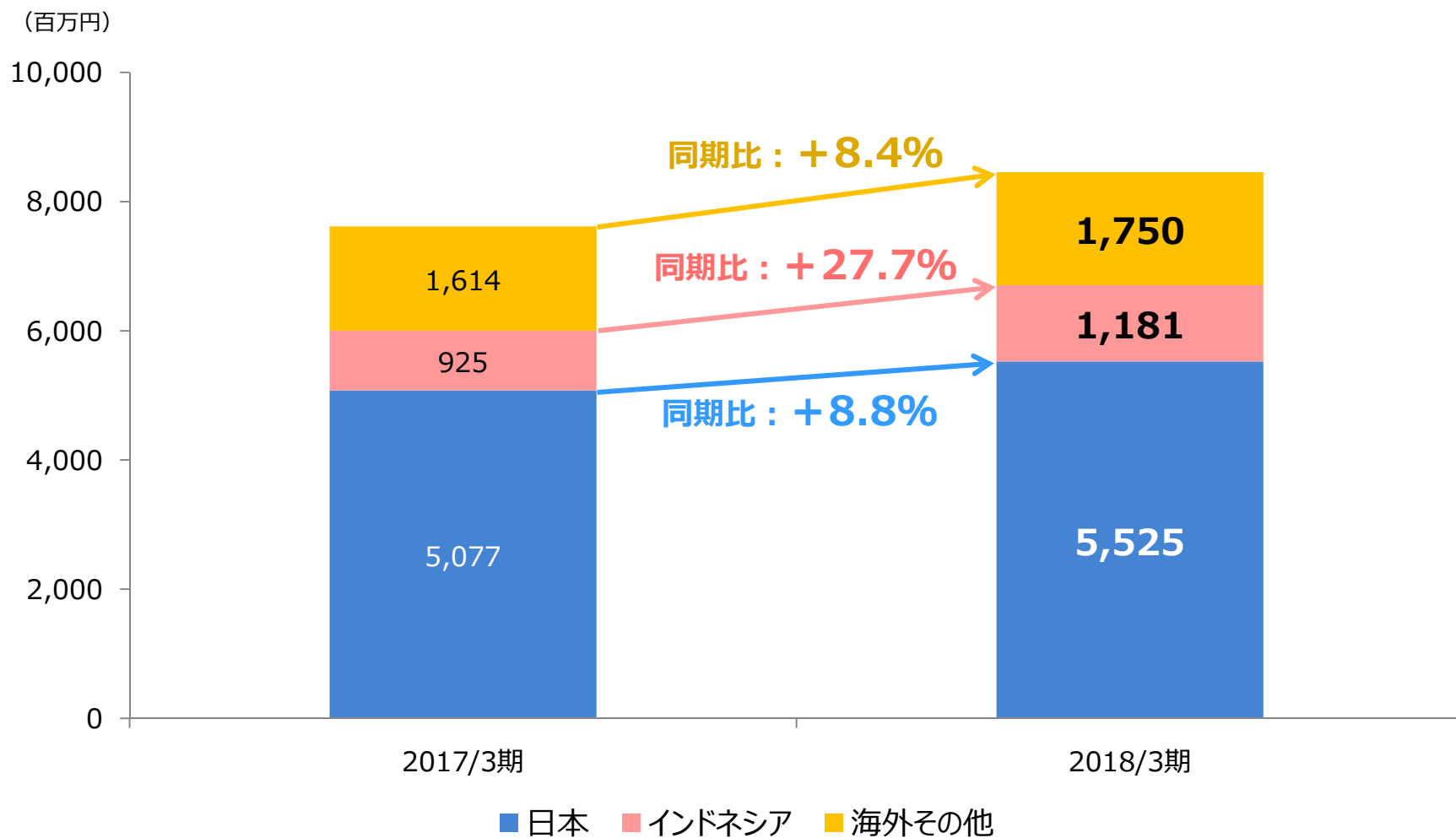




# 1. 2018年3月期決算 <所在地別営業利益>

## 4)主に増収効果により、すべての地域で増益

・インドネシアでは、販売費の効率的使用により、大幅増益



# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（日本）>

## ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比

- ・ギャツビーは苦戦したものの、女性事業、ルシードが好調に推移



主要ブランドの状況

男性事業	女性事業
GATSBY →	Bifesta ビフェスタ ↗
LÚCIDO ↗	Barrier Repair ↗

# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（日本）>

男 性 事 業

売上高事業別構成比

## GATSBY

- ・天候不順により、清涼感の強い“アイスタイプ”の需要が落ち、夏シーズン品の苦戦の影響が大きい
- ・直塗りデオドラントの「ギャツビー スポットデオドラントシリーズ」において夏シーズンに向けた早期買い場づくりのためにマーケティング投資を実施



### ■ 清涼感の強い“アイスタイプ”商品

### ■ スポットデオドラントシリーズ



# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（日本）>

男性事業

売上高事業別構成比

# LÚCIDO



- ・昨年秋にリニューアルした「スキンケア」シリーズが好調に推移
- ・特に「薬用トータル乳液」はTVCMの投下と店頭展開強化によって市場での存在感を高めている

## ■スキンケアシリーズ



# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（日本）>

## 女性事業

売上高事業別構成比

**Bifesta**  
ビフェスタ



- ・クレンジングシート市場は横ばいの中、ビフェスタは2桁を越える伸長
- ・アイメイクアップリムーバーも堅調に推移し、高い市場シェアを維持

### ■ クレンジングシート

### ■ アイメイクアップリムーバー



# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（日本）>

## そ の 他

### 【インバウンド】

- ・対象アイテムは「バリアリペア シートマスク」を中心に、「ビフェスタ アイメイクアップリムーバー」「ビフェスタ クレンジングシート」などの女性用が主
- ・訪日観光客や、越境EC目的と考えられる購入の合算は、月平均3億円程度と順調に推移
- ・アジアに愛用者を増やしているだけでなく、日本人の購入機会の拡大にもつながっている

#### ■バリアリペア シートマスク



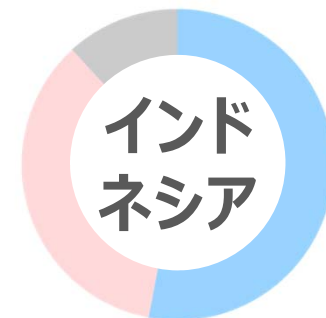
#### ■ビフェスタ






## ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比

- ・ギャツビーが好調に推移し、ピクシーも堅調  
ピュセルは競争激化で低迷



主要ブランドの状況

男性事業	女性事業
GATSBY 	PIXY 
	Pucelle 

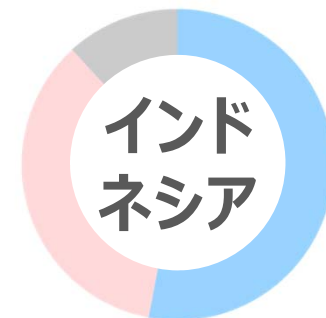
# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（インドネシア）>

男性事業

売上高事業別構成比

## GATSBY

- ・好調な「スタイリングポマード」に追加アイテムを発売  
スタイル提案幅を広げ、さらなるお役立ち拡大を図る



### ■ スタイリングポマード 追加アイテム



<スタイリングポマード Perfect Rise>



<スタイリングポマード Urban Dry>

### ■ バーバースタイル





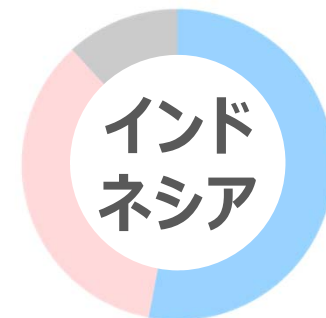
# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（インドネシア）>

女性事業

売上高事業別構成比

PIXY

- ・ヤング女性向けの「リップ クリーム」が好調に推移
- ・12月には新製品「MATTE IN LOVE」を発売
- ・コンテストやビューティブローガー活用によるブランド情報発信など、ヤング女性とのコミュニケーションを強化



## ■ MATTE IN LOVE

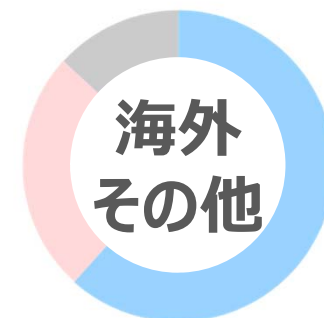


## ■ コンテスト風景

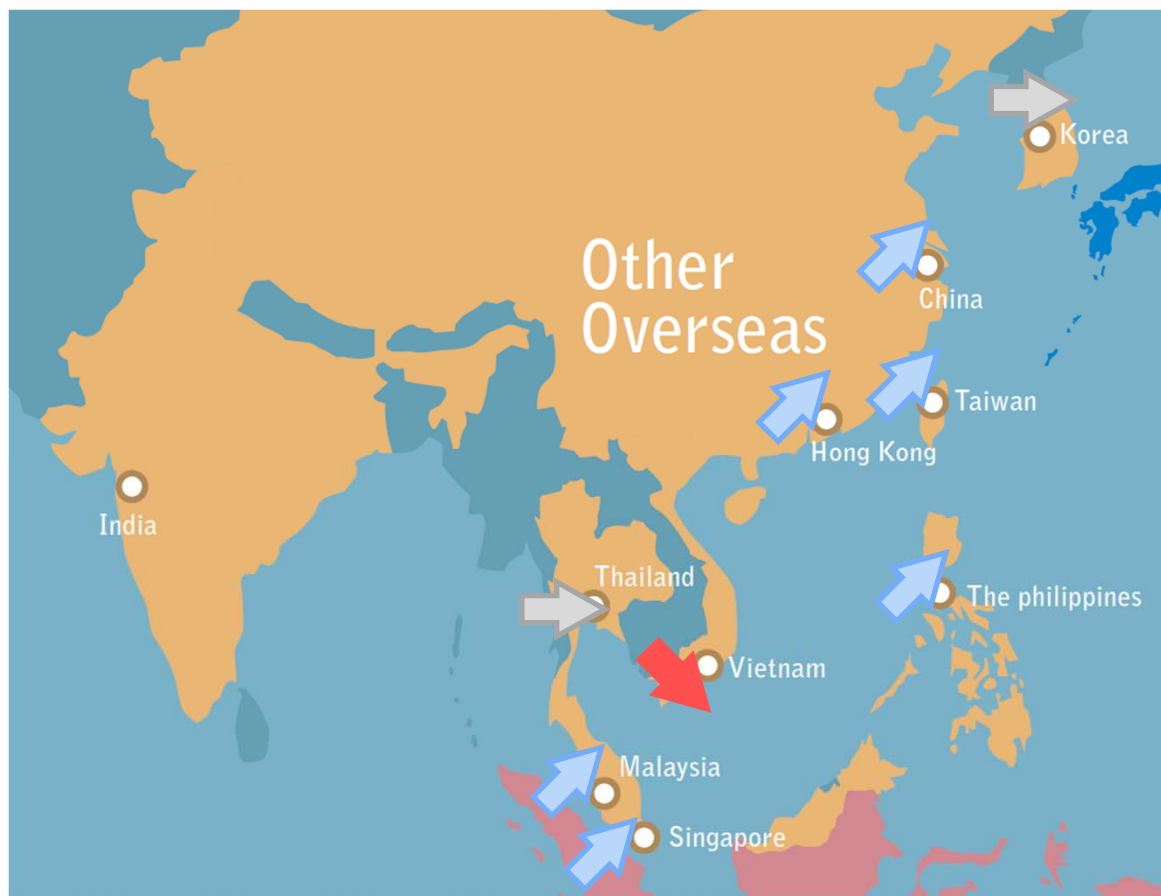


## 事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・現地通貨ベースで中国が引き続き2桁成長  
一部の国を除き、各国堅調に推移



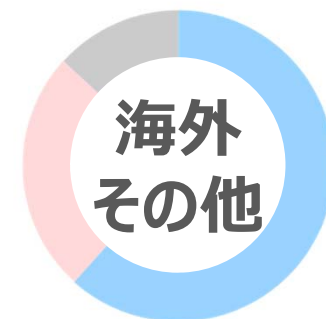
# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（海外その他）>

## 男性事業

売上高事業別構成比

# GATSBY

- ・アジア各国へ展開を拡大しているポマードは  
マレーシア、シンガポール、中国では売上規模も大きくなってきている
- ・アイテムを追加し、提案幅を拡大



■ ドレッシングポマード Yuppie Mat（中国製）



■ スタイルングポマード Perfect Rise Urban Dry（共にインドネシア製）

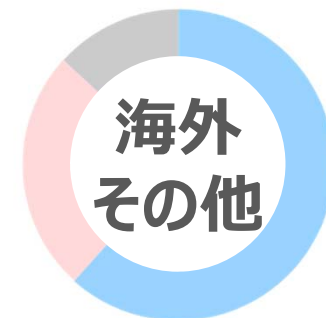


# 1. 2018年3月期決算 <事業推進の概況（海外その他）>

## 女性事業

売上高事業別構成比

**Bifesta**  
ビフェスタ



- ・日本同様「アイメイクアップリムーバー」と「クレンジングシート」が大きく成長し、実績をけん引
- ・中国の大手小売チェーンへの導入も進み、さらなる拡大を期待

### ■ 中国の店頭



### ■ 台湾の店頭



## **2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況**

**(2018年3月期～2020年3月期)**

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

### MANDOMの使命 (= 理念)

#### ■ 理念体系

#### MANDOM MISSION

---

#### Human to Human

私たちMANDOMは、健康と清潔と美を通じて、奔放に大胆に、  
あなたの日常を発見と感動で満たす「人間系」企業です

#### MANDOM PRINCIPLES

---

生活者発・生活者着  
チャレンジ・チェンジ・イノベーション  
全員参画  
社会との共存・共生・共創  
人財主義

#### MANDOM SPIRIT

---

お役立ち 人間尊重 自由闊達

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

### マンダムの夢 (=ビジョン)



VISION  
2027

総合化粧品ではなく  
唯一無二の強みを持った  
化粧品会社

具体的な会社像

- 1.「常に本物を提案する」会社
- 2.「Global & Only One」な会社
- 3.「Exciting & Excellent」な会社

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

### ビジョンスローガン

オンリーワンの強みを持ったグローバル10億人のお役立ち

### 基本方針

1. アジアの成長を取り込んだ真のグローバルカンパニーへの進化
2. 男性事業のお役立ちの更なる深化と、女性事業における積極的投資および拡大
3. 本物を提供するストック型マンダムワールドづくり

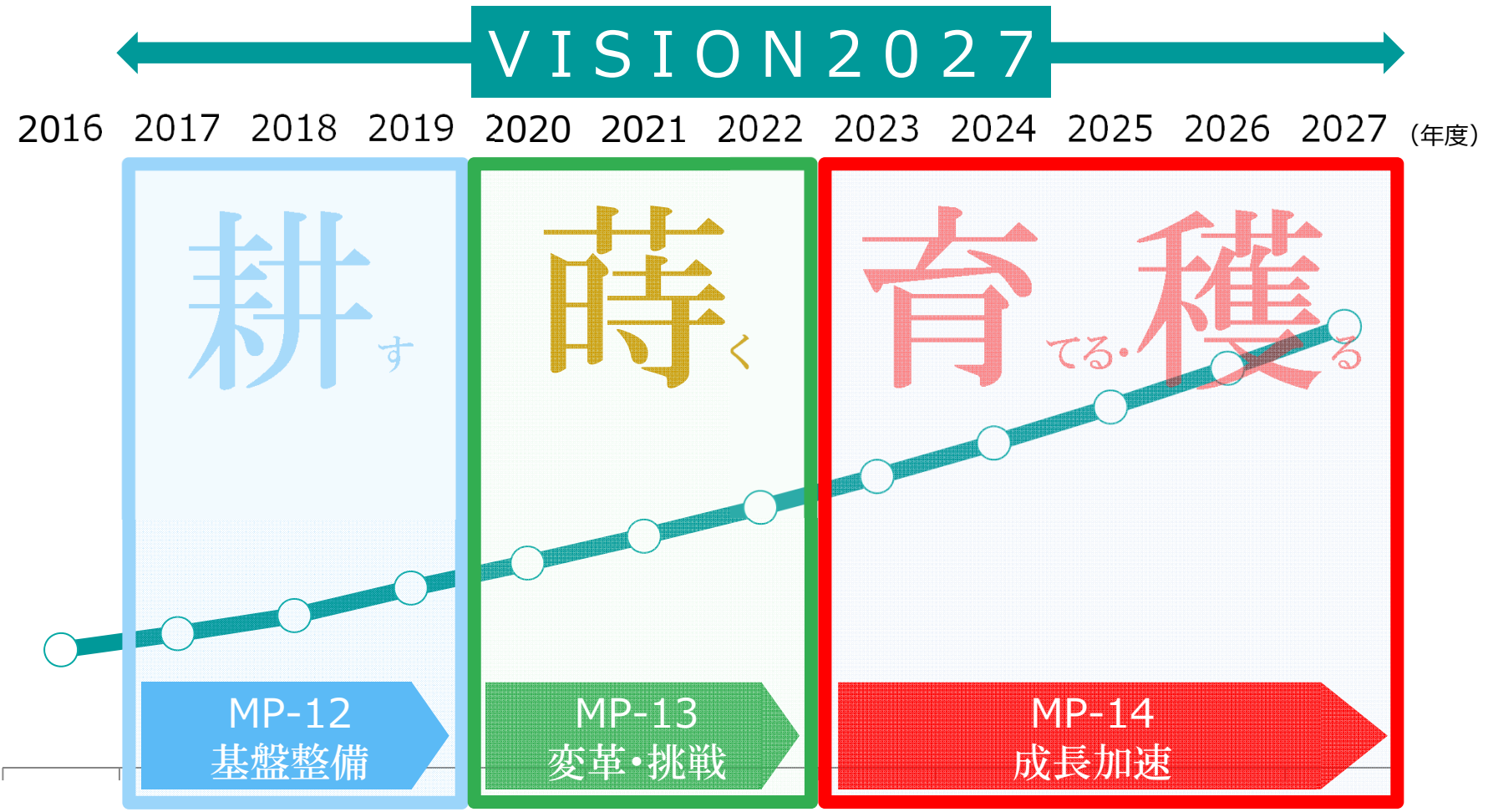
#### ■ イメージ





# 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

## MP-12の位置づけ



VISION2027実現のための企業基盤整備

### 経営基本方針

1. カテゴリー戦略の推進とブランド価値向上の徹底
2. インドネシアを中核にした海外事業の成長性向上
3. グループオペレーション体制の構築と単位あたり生産性の向上

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

### ■ 経営基本方針に基づいて実施した主な施策

① 全社理念教育の実施

② ECの取り組みを強化

③ マーケティング機能を青山に集約

④ 福崎工場における新生産棟建設

⑤ 譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <全社理念教育>

### ①全社理念教育の実施



経営トップから役員へ



役員から部門長へ

グループ全社員が『理念』を一貫性、統一感のある形で共有化

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <全社理念教育>

### ①全社理念教育の実施

部門長から社員へ



費やした日数：のべ26日間

対象者数：1,009名

総移動距離：約6万km（地球1周半分）

グループ全社員が『理念』を日々の考働にどう活かすかという視点で共有

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <ECの取り組み>

### ② ECの取り組みを強化

アジア10の国と地域に  
展開している  
ビジネスネットワーク



お役立ち  
拡大の  
チャンス

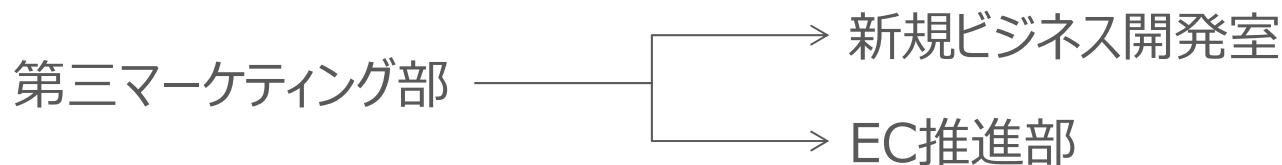
急速なデジタル環境の  
変化による各国間の  
ボーダレス化



組織改編を含め、グループ各社・各事業の連携を密にして対応を強化

2018年3月期

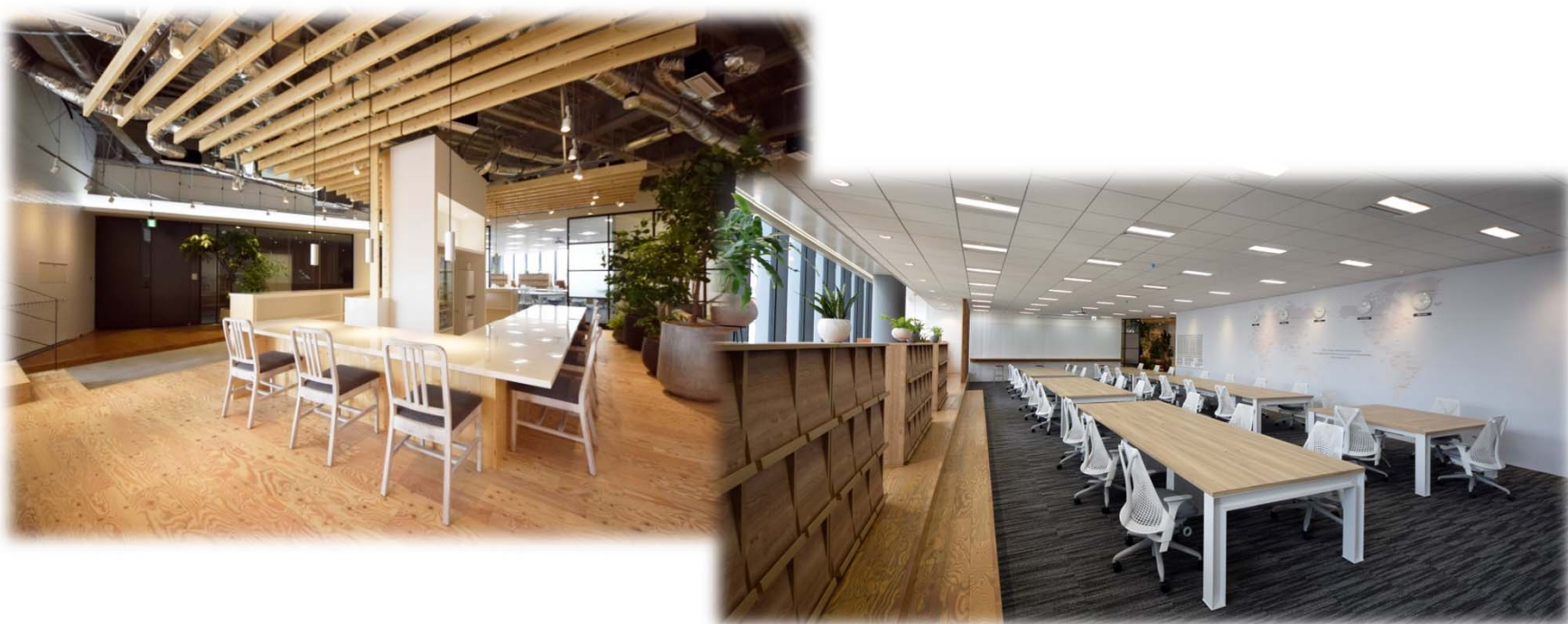
2019年3月期



## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <マーケティング機能>

### ③ マーケティング機能を青山オフィスに集約

- ・グローバルブランド担当者会議の拠点など、国を超えたマーケティングノウハウの共有
- ・単なる「働く場」ではなく、「何か新しいコト、面白いコトを発信する場」と位置付け  
情報収集および発信力の向上を図る



グローバル規模でのトータルマーケティングのさらなる推進

### ④福崎工場における新生産棟建設

- ・将来の事業拡大を見据え、生産能力を1.6倍へ
- ・社員にとって生き生きと働くことのできる「人間系」の工場へ



VISION2027実現に向けてふさわしい生産拠点へ



### ④福崎工場における新生産棟建設

- ・安心、安全で快適な職場環境を整備
- ・大人数収容型プレゼンルームなど、化粧品工場としての新たな価値をプラス



着工時期（予定）：2019年2月  
稼動開始（予定）：2020年11月  
投資規模：約110億円

### ⑤ 譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議

- ・2018年6月22日開催予定の第101 回定時株主総会に付議
- ・企業価値の持続的な向上を図るインセンティブ
- ・株主の皆様との一層の価値共有を進める

## ■ 経営基本目標

【成長性】

男性事業  
年平均成長率

**3%以上**



女性事業  
年平均成長率

**10%以上**



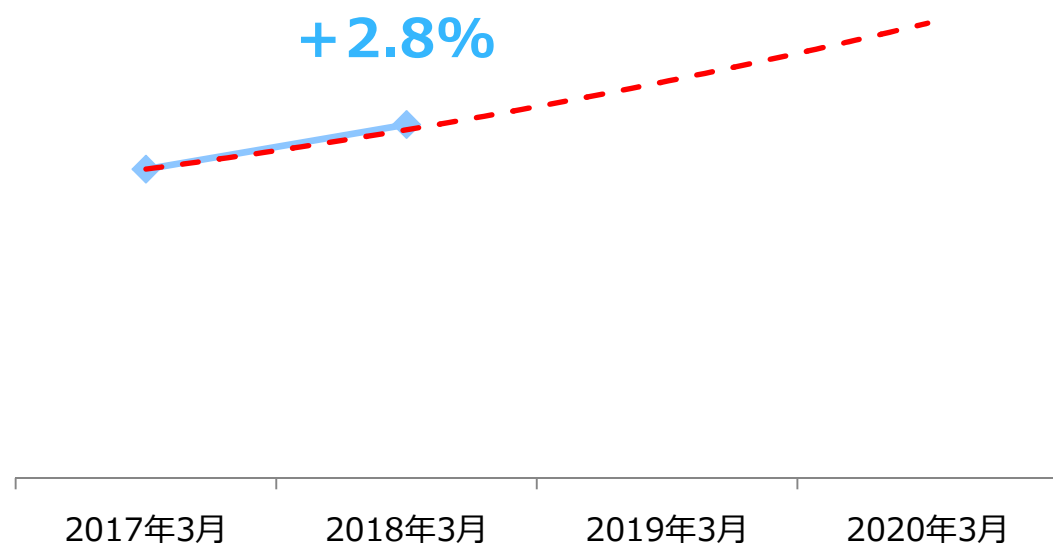
海外  
年平均成長率

**10%以上**



## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <成長性>

【成長性】男性事業 年平均成長率 3%以上



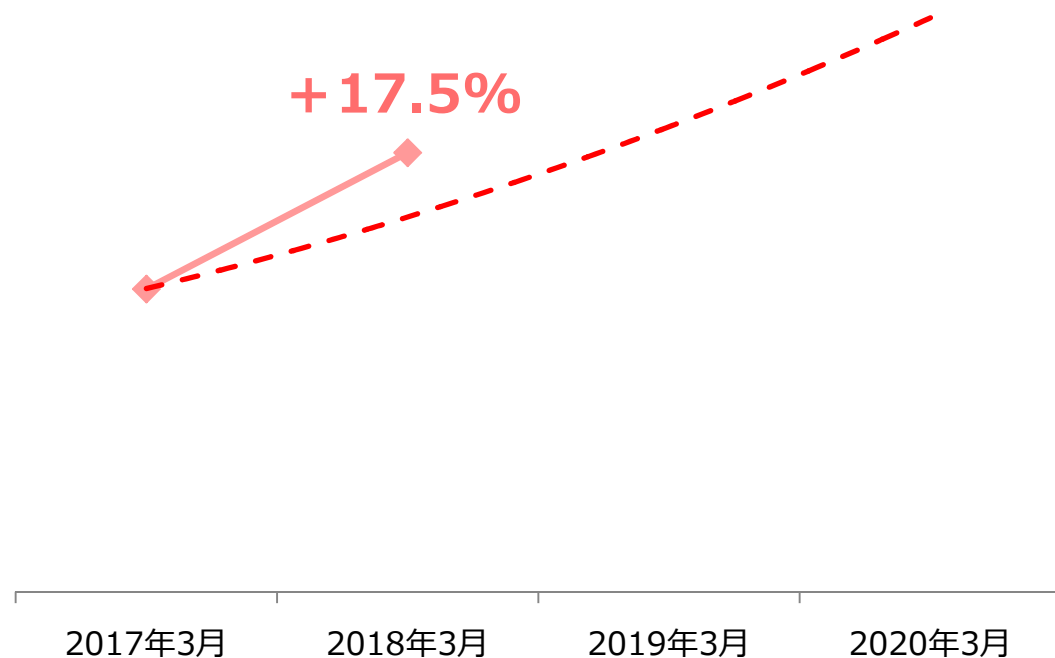
※成長曲線はイメージ

### <今後の取組み>

- ・国内外における「ギャツビー」の強化
- ・「ルシード」を通じたミドル男性ならではのグルーミング提案の継続

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <成長性>

【成長性】女性事業 年平均成長率 10%以上



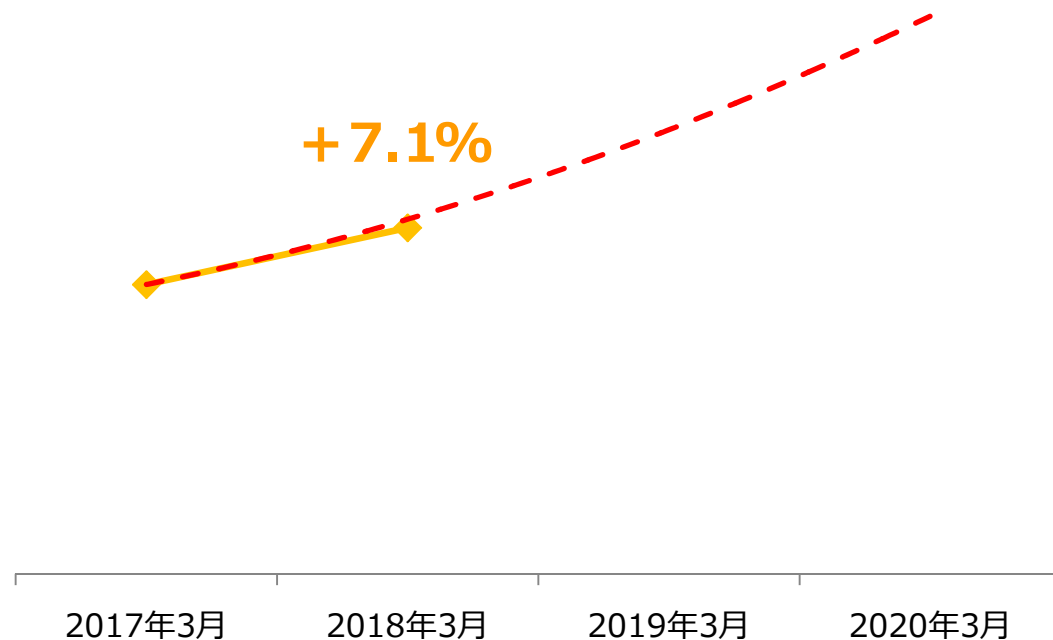
※成長曲線はイメージ

### <今後の取組み>

- ・国内外における「ビフェスタ」の提案強化
- ・「バリアリペア」水平展開エリアの拡大
- ・「ピクシー」ブランドアクティビティの強化

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <成長性>

【成長性】海外 年平均成長率 10%以上



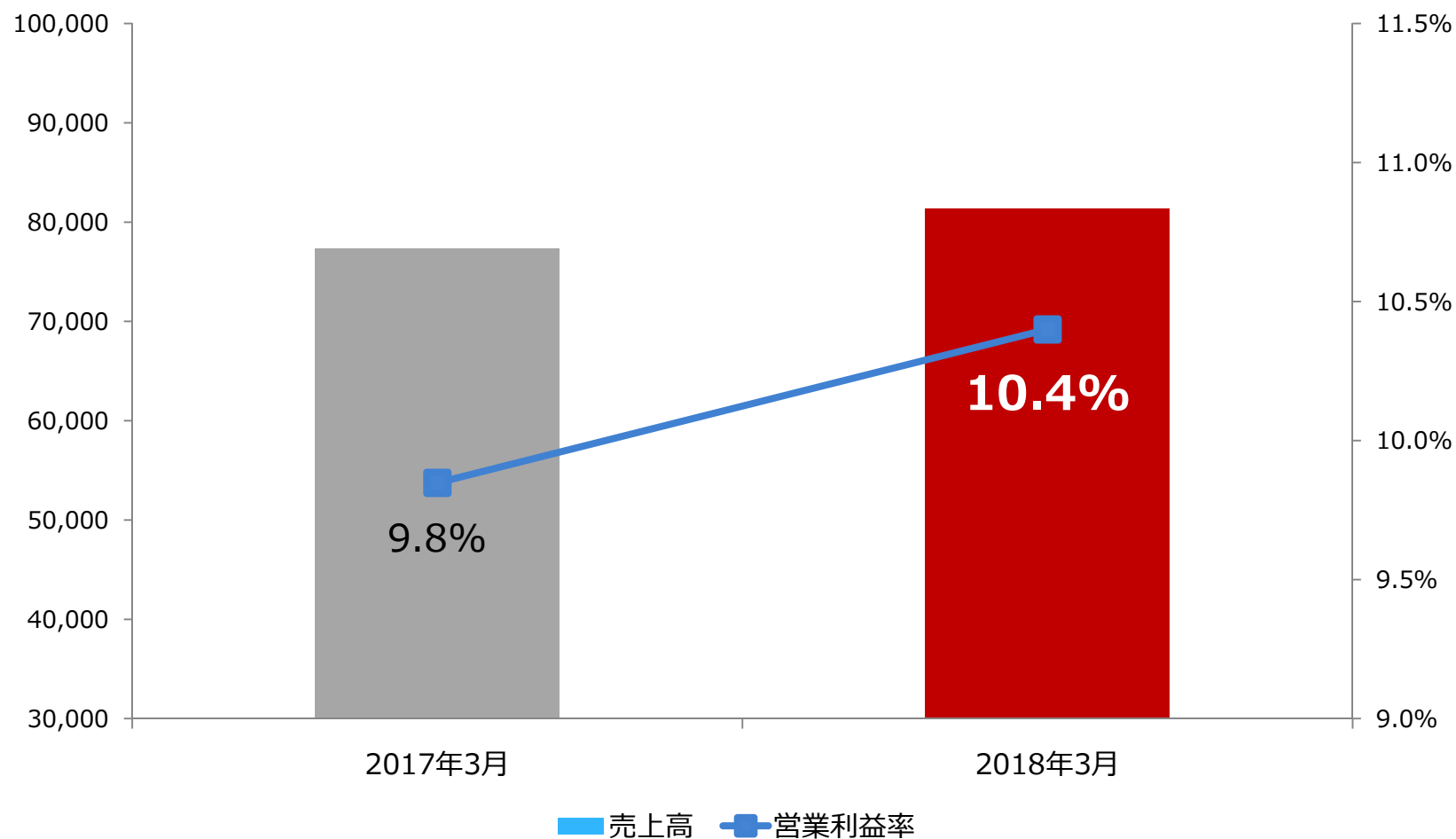
※成長曲線はイメージ

### <今後の取組み>

- ・インドネシア国内におけるマス中間層をコアターゲットとしたお役立ちの量の拡大
- ・海外その他各国の成長スピードを加速

## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <収益性>

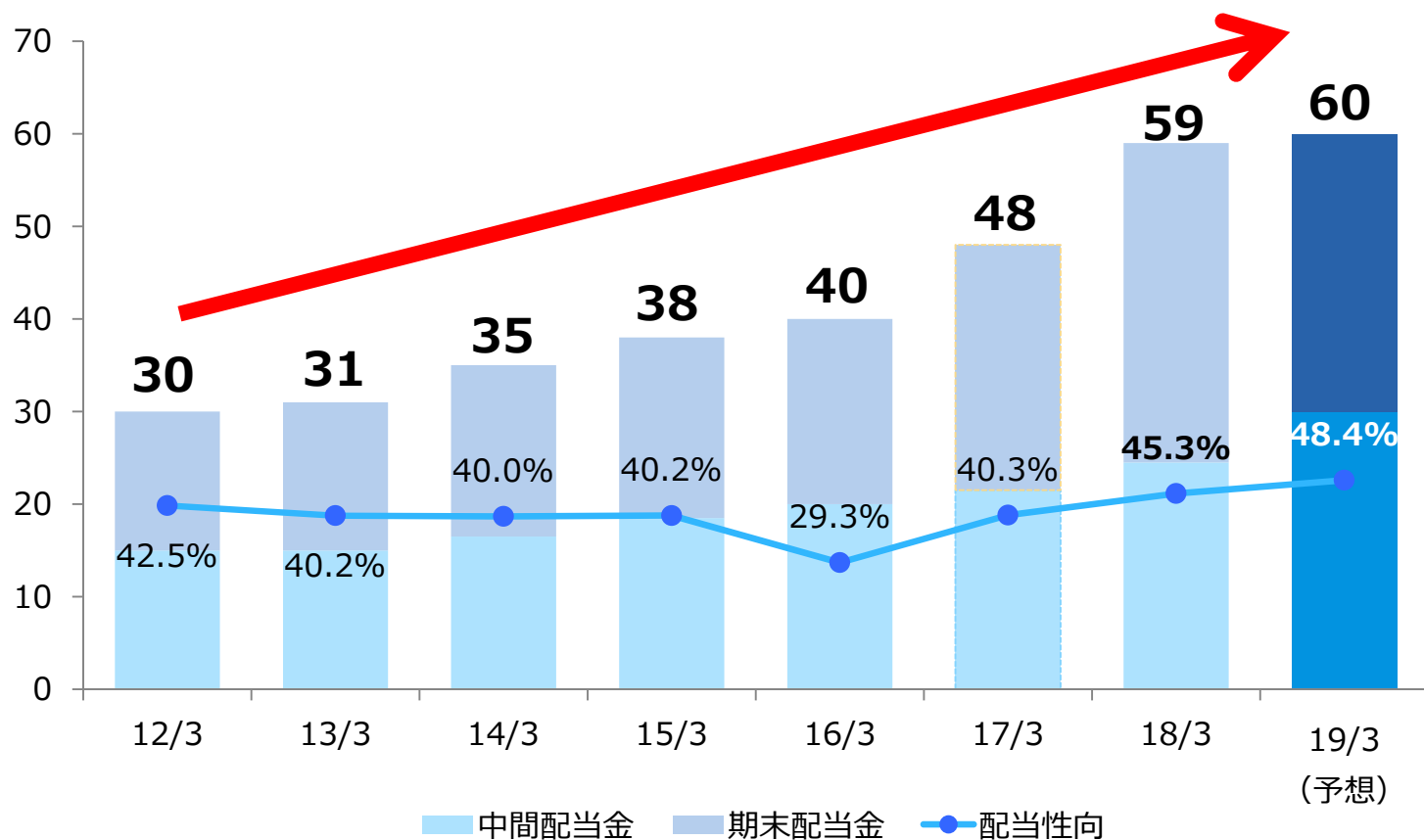
【収益性】 連結営業利益率 10%



## 2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <株主還元>

【株主還元】連結配当性向 特別な要素を除いた連結ベース 40%以上

- ・90周年記念配当を含め、年間配当額は59円（配当性向：45.3%）  
2019年3月期も増配を予定しており、7期連続増配予定（配当性向：48.4%）



※当社は2017年10月1日を効力発生日として、1：2の株式分割を実施しており、上記グラフの数値はすべて株式分割の影響を考慮した数値となっております



## 3. 2019年3月期 通期業績見通し

### 3. 2019年3月期 通期業績見通し

#### 2019年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

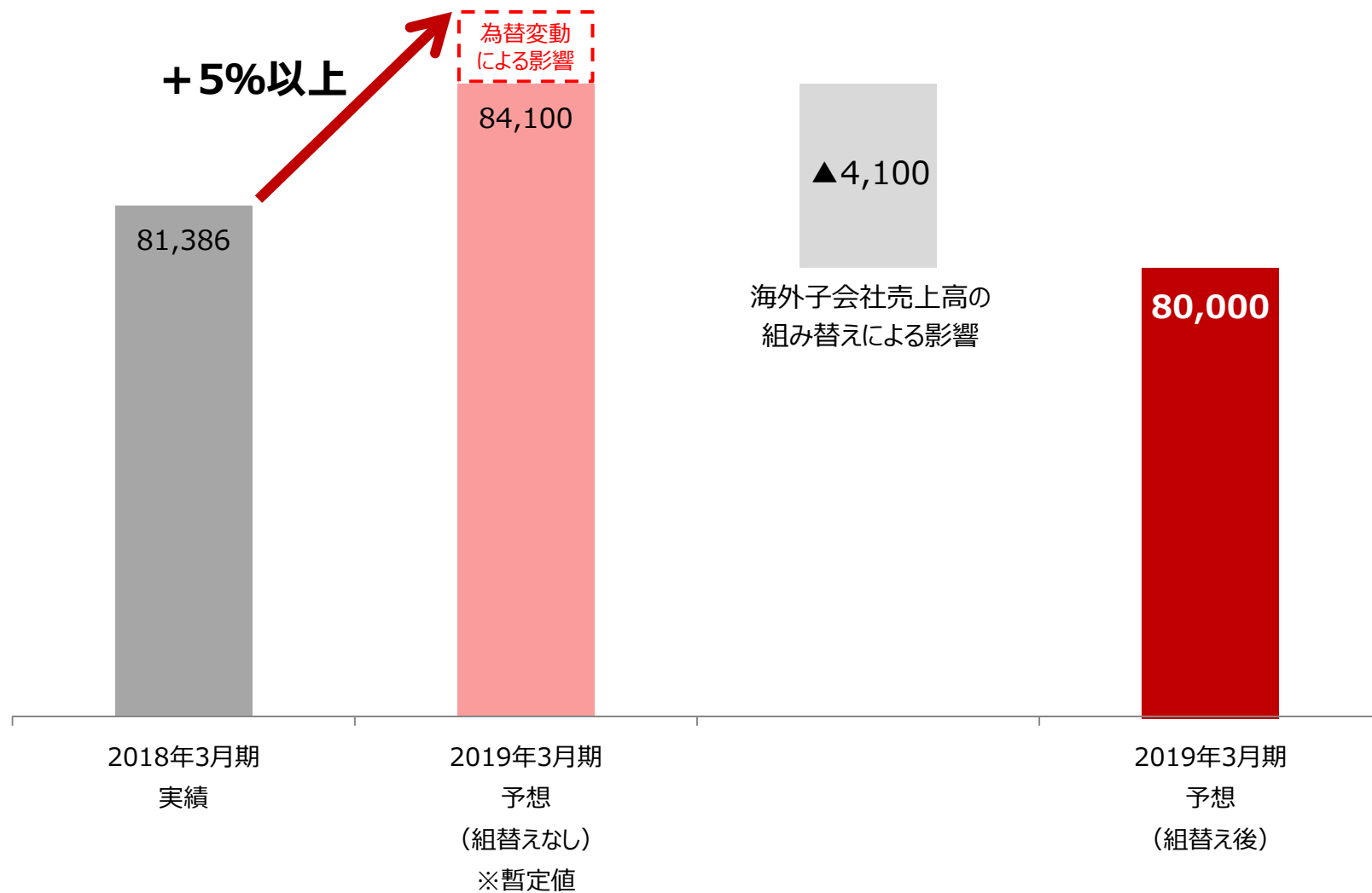
	2019/3期						2018/3期	
	通期			第2四半期			実績	
	業績予想	増減額	同期比	業績予想	増減額	同期比	通期	第2四半期
売上高	80,000	▲1,386	98.3%	43,000	▲1,247	97.2%	81,386	44,247
営業利益	8,600	142	101.7%	5,950	▲223	96.4%	8,457	6,173
経常利益	9,300	35	100.4%	6,350	▲278	95.8%	9,264	6,628
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,800	▲286	95.3%	4,000	▲357	91.8%	6,086	4,357

(注)平成31年3月期より、国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除することとなります。

平成30年3月期の売上高を同様の基準で算定した場合の前期比は約3%増となる見込みであります。

### 3. 2019年3月期 通期業績見通し

#### 2019年3月期 連結売上高予想 増減額内訳



# 3. 2019年3月期 通期業績見通し

## 2019年3月期 連結業績予想 増減額内訳 (対前期)

(単位：百万円)

### 計画の前提

売上高 ※

2,713

売上原価率

0.2%

販管費 ※

1,173

営業利益

142

経常利益

35

親会社株主に  
帰属する当期純利益

▲ 286

#### ■ 売上高

- +)
- ・日本夏シーズン品取り組み強化による売上拡大
- ・国内外「ビフェスタ」女性クレンジング、洗顔カテゴリーの拡大
- ・海外での「ギャツビー」スタイリング剤を中心とした男性事業の高成長
- ・日本における「ルシード」ブランドによるミドル市場の拡大
- 
- )
- ・為替（円高）影響による海外子会社売上高の円換算額の減少

#### ■ 営業利益

- +)
- ・増収効果
- ・国内外での販売費用の効率的使用
- 
- )
- ・基盤整備に伴う投資額の増加
- ・為替（円高）影響による海外子会社利益額の円換算額の減少

※海外子会社売上高の組み替えによる影響は考慮しない暫定値で算出

# 3. 2019年3月期 通期業績見通し

## 2019年3月期 連結業績予想 増減額内訳 (対前期)

(単位：百万円)



### 計画の前提

#### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

-) ・福崎工場の既存生産設備の除却


#### ■ リスク要因

- ・日本の夏季の気候変動による、夏シーズン品売上高への影響
- ・為替影響による海外子会社売上高の円換算額の変動

#### ■ 前提に含まないもの

- ・インバウンド売上のさらなる拡大
- ・日本における消費税増税前の駆け込み需要

※海外子会社売上高の組み替えによる影響は考慮しない暫定値で算出



# ◆ 參考資料

# (参考資料) 2018年3月期 連結業績概要

(単位：百万円)

	通 期					
	2018/3期	2017/3期	増減額	同期比	前期レート 換算比	計画比
売上高	81,386	77,351	4,035	105.2%	104.5%	101.7%
営業利益	8,457	7,617	840	111.0%	—	105.7%
経常利益	9,264	8,183	1,080	113.2%	—	109.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,086	5,566	520	109.4%	—	108.7%

ROE	9.2%	9.1%
EPS	130.19円	119.05円

配当性向	45.3%	40.3%
------	-------	-------

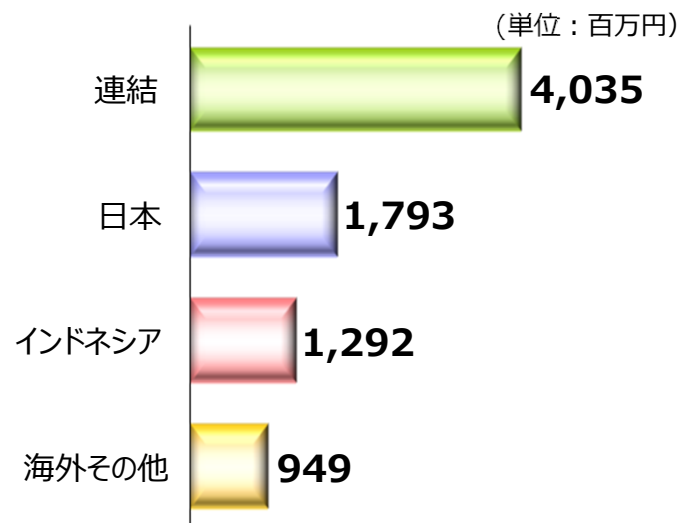
# (参考資料) 連結売上高

## 2-1.所在地別売上高

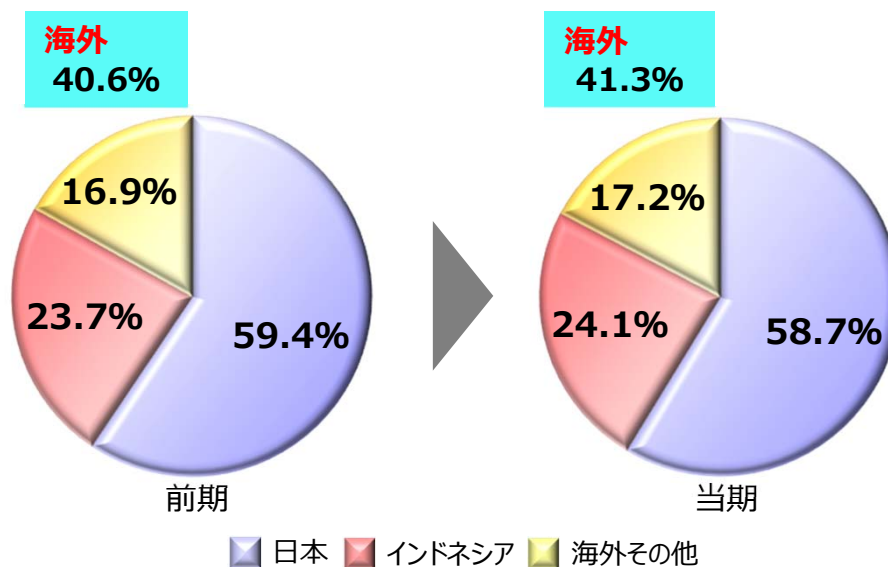
(単位：百万円)

	通 期			
	2018/3期	2017/3期	増減額	同期比
売上高	81,386	77,351	4,035	105.2%
<b>日本</b>	47,739	45,945	1,793	103.9%
<b>インドネシア</b>	19,616	18,323	1,292	107.1%
<b>海外その他</b>	14,030	13,081	949	107.3%

## 2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳



## 2-2.所在地別売上高 同期構成比推移





# (参考資料) 連結売上高

## 2-4.事業別売上高

(単位：百万円)

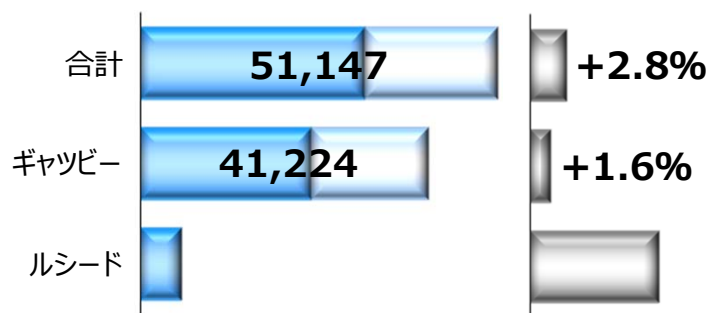
	通		期	
	2018/3期	2017/3期	増減額	同期比
売上高	81,386	77,351	4,035	105.2%
男性事業	51,147	49,737	1,410	102.8%
ギャツビー	41,224	40,587	637	101.6%
女性事業※	23,083	19,641	3,441	117.5%
その他事業	7,156	7,972	▲ 815	89.8%

※内訳：女性コスメティック15,355百万円（同期比130.7%）/女性コスメタリー7,727百万円（同期比97.9%）

### 男性事業

当期実績

伸長率



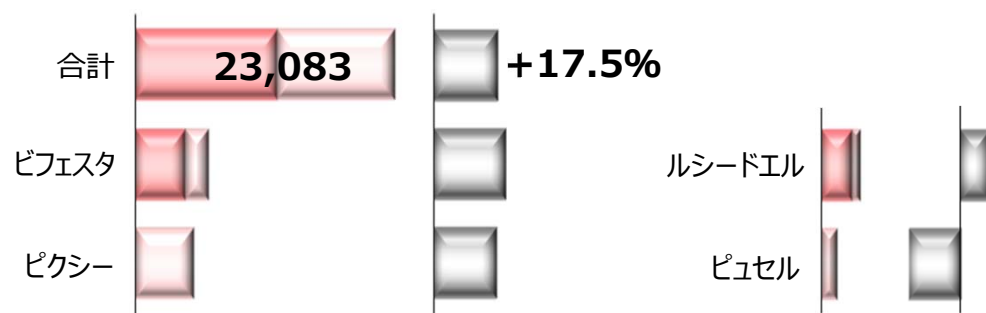
■ 国内 ■ 海外

### 女性事業

当期実績

伸長率

当期実績 伸長率



■ 国内 ■ 海外

# (参考資料) 連結段階利益

## 3-1.所在地別営業利益

(単位：百万円)

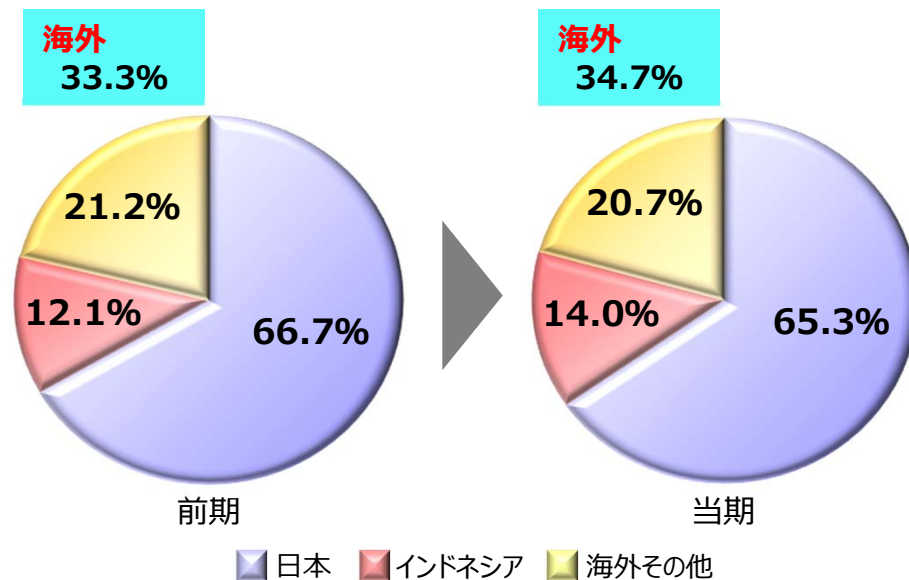
	通 期					
	2018/3期		2017/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	8,457	10.4%	7,617	9.8%	840	111.0%
<b>日本</b>	5,525	11.6%	5,077	11.1%	447	108.8%
<b>インドネシア</b>	1,181	6.0%	925	5.0%	256	127.7%
<b>海外その他</b>	1,750	12.5%	1,614	12.3%	135	108.4%

## 3-2.所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)

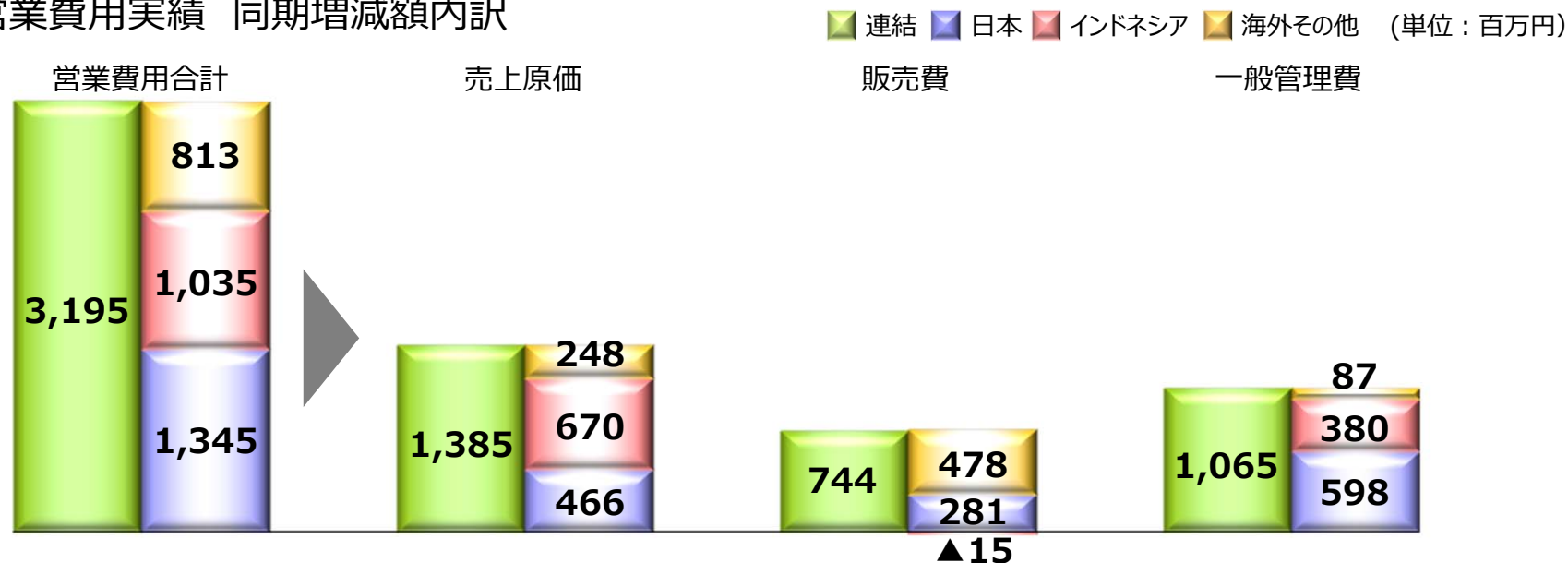


## 3-3.所在地別営業利益 同期構成比推移

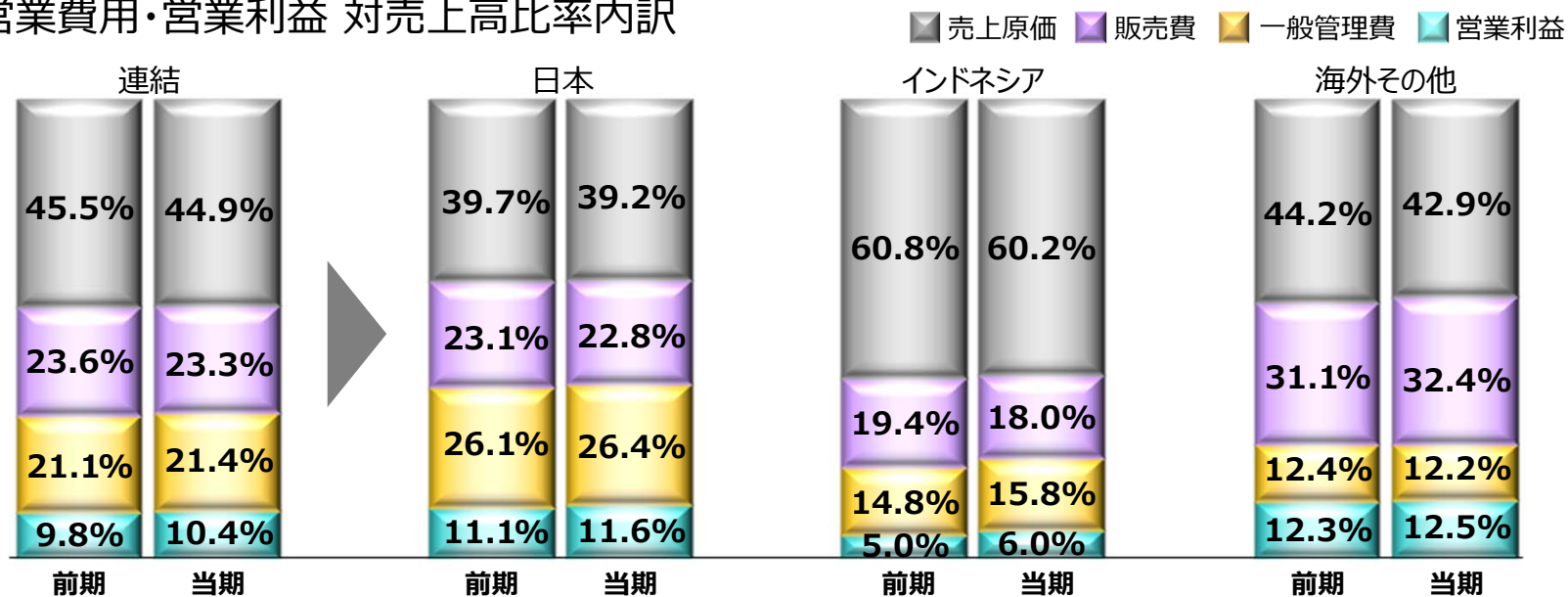


# (参考資料) 連結段階利益

## 3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳



## 3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳



# (参考資料) 連結段階利益

## 3-6. 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

	通 期					
	2018/3期		2017/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	806	1.0%	565	0.7%	240	142.5%
経常利益	9,264	11.4%	8,183	10.6%	1,080	113.2%
特別損益	▲ 45	▲ 0.1%	194	0.3%	▲ 239	▲ 23.4%
税引前純利益	9,218	11.3%	8,377	10.8%	841	110.0%
法人税等	2,544	3.1%	2,232	2.9%	311	113.9%
当期純利益	6,674	8.2%	6,144	7.9%	529	108.6%
非支配株主に帰属する当期純利益	587	0.7%	578	0.7%	9	101.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,086	7.5%	5,566	7.2%	520	109.4%

## 3-7. 営業外損益・特別損益内訳

(単位：百万円)



# (参考資料) 株式会社マダム(単体)及びPT Mandom Indonesia Tbk 損益計算書

## 株式会社マダム

(単位：百万円)

	2018/3期	2017/3期	増減額	同期比	2018/3期 当初計画
売上高	51,646	49,604	2,041	104.1%	51,000
売上原価	22,725	22,130	594	102.7%	-
原価率	44.0%	44.6%	-0.6P	-	-
販売費及び一般管理費	23,033	22,080	953	104.3%	-
営業利益	5,887	5,393	493	109.2%	5,600
営業外損益	809	758	50	106.7%	-
経常利益	6,696	6,151	544	108.8%	6,300
特別損益	▲ 28	▲ 24	▲ 4	119.2%	-
当期純利益	4,944	4,517	426	109.4%	4,550

## PT Mandom Indonesia Tbk

現地通貨

(単位：百万Rp.)

	2018/3期	2017/3期	増減額	同期比
売上高	2,706,394	2,526,776	179,618	107.1%
売上原価	1,699,417	1,582,456	116,961	107.4%
原価率	62.8%	62.6%	+0.2P	-
営業利益	225,320	196,734	28,586	114.5%
当期純利益	179,126	162,059	17,066	110.5%

## ■ 連結・単体 減価償却実施額・設備投資額

連結

(単位：百万円)

	2018/3期	2017/3期	増減額	2019/3期 予想
減価償却実施額	3,315	3,165	149	3,700
設備投資額	3,953	3,934	19	4,600

## 株式会社マダム(単体)

(単位：百万円)

	2018/3期	2017/3期	増減額
減価償却実施額	2,169	2,138	31
設備投資額	2,243	2,423	▲ 179

## 円換算

(単位：百万円)

	2018/3期	2017/3期	増減額	同期比
売上高	22,733	20,972	1,761	108.4%
売上原価	14,275	13,134	1,140	108.7%
原価率	62.8%	62.6%	+0.2P	-
営業利益	1,892	1,632	259	115.9%
当期純利益	1,504	1,345	159	111.9%

Rp.1= ¥ 0.0084 Rp.1= ¥ 0.0083

この資料に記載されている株式会社マダム(以下、当社)の現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、当社の実際の経営成績、業績などはこの資料に記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

※記載金額は単位未満を切り捨てております